

教科	科 目	単位数	学年・クラス
家庭	保育基礎	2	3年 地域探究・人文探究コース

1 使用教材

使用教科書	保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ
出版社	教育図書
副教材等	
出版社	-

2 学習の目標

- 1 保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて理解し、関連する技術を身に付ける。
- 2 子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 3 子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて理解し、関連する技術を身に付けている。
② 思考・判断・表現	子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習状況の観察	B	B	A	授業中の積極的な参加・質問に対する応答
プリントの提出	B	A	A	思考内容・姿勢
保育技術検定	A	A	A	保育技術
小テスト	A	A	B	
実習	A	B	A	取り組む態度・保育技術

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学 期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学 期	第1章 子どもの保育 1 保育の意義 2 保育の環境 3 保育の方法 第2章 子どもの発達 1 子どもの発達の特性 2 乳幼児の発育と発達 保育技術検定3級	「保育」とは何かを考察し、保育者としての具体的援助方法を理解する。 家庭保育と集団保育の役割を理解し、保育所と幼稚園の違いを知る。 発達には順序性・連続性・方向性・相互性という一定の共通性がある一方で、個人差が大きいことを理解する。 乳幼児期の発育について、各部位別の目安や評価法を知る。また、大人などと比較して、乳幼児期の発育の特性を理解する。
2 学 期	第3章 子どもの生活 1 子どもの健康と生活 2 子どもの食事 【幼児食調理実習】 3 子どもの衣服と寝具 4 子どもの健康と安全 【チャイルドビジョン実習】 第5章 子どもの文化 1 子どもの文化の意義 2 子どもの文化を支える場 3 子どもの遊び 4 子どもの表現活動 【おもちゃ作り】	保育所保育指針などを取り上げながら養護の必要性・目的を理解し、発達の段階に応じた適切な養護の方法を知る。 幼児期における栄養素や食育について実習を通して理解し、考察する。 乳幼児に適した被服の素材・型を知り、適切な被服計画ができるようになる。 子どもの健やかな発達における遊びの重要性や意義を、おもちゃづくりなどの活動を通じて理解する。 子どもの遊びの内容や時間・場所・仲間などが、近年の社会の変化の影響を受けて変容していることを知り、どのような課題があるか考える。
3 学 期	第4章 子供の福祉 1 保育にみる児童観 2 児童福祉の理念と法規・制度 保育実習	児童観の変遷や児童福祉の理念と制度について理解する。 子どもの福祉を支える場の役割について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。 子どもの福祉について自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む。